

「光の数理」正誤表

頁	該当箇所	誤	正
2	6行目	異なる境界面での	異なる 媒質 の境界面での
45	式(3.27 a)第2式	$E_i = \frac{1}{\epsilon_0} \sum_{k=1}^3 a_{ik} \mathbf{D}_k$	$E_i = \frac{1}{\epsilon_0} \sum_{k=1}^3 a_{ik} D_k$ (D:細字)
54	式(3.59 b)第2式	$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}$	$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}$ (x:太字)
54	式(3.62)	$x_- = \dots, x_+ = \dots$	$\mathbf{x}_- = \dots, \mathbf{x}_+ = \dots$ (x:太字)
120	フーリエ変換の特徴 (2), 4・5行目	演算が困難な計算が容易になる	困難な 演算 が容易になる
130	1行目	ただし, 式(6.27)右辺第二項は凸レンズの複素振幅透過率を表す。	式(6.27)では, 凸レンズの集束効果と回折波の位相分散が相殺されている。
196	1行目から2行目	…に比例して異なるが, 光線が ζ_{in} によらず…	…に比例して異なる。多モードでは ζ_{in} の異なる光線が, ζ_{in} によらず…
198	式(8.92)	$\dots + \frac{\partial^2 \psi(x, y)}{\partial y^2} f(x, y) \psi(x, y) = 0$	$\dots + \frac{\partial^2 \psi(x, y)}{\partial y^2} + f(x, y) \psi(x, y) = 0$
200	8.8節, 4行目	摂動がある場合に…	摂動 (9.1節参照) がある場合に…
218	下から10行目	…を代入すると…	…を代入すると, ステップ形では
224	2行目	波動方程式 (7.89)	波動方程式 (8.89)
229	【ら】 行		「ラプラシアン 94」 追記